

ここでは、下条小学校の6年生が防災の学習で学んだ、避難所にある防災グッズや避難場所、防災についての豆知識などを紹介します。

○第一指定避難所（市民館）にある防災グッズ

乾燥かゆ（120食）	毛布（150枚）
乾パン（96食）	飲料水（240本）
凝固衛生袋セット（100セット）※1	スマスライト
簡易トイレ	スターターキット
ブルーシート	避難所開設ボックス

※1 凝固衛生袋セットとは歯ブラシや汚物処理袋などが入っています。

○第二指定避難所（下条小学校）の防災グッズ

乾燥かゆ（100食）	毛布（100枚）
乾パン（120食）	飲料水（120本）
凝固衛生袋セット（100セット）※1	スマスライト
簡易トイレ	スターターキット※2
簡易ベッド	避難所開設ボックス
電池とライト	

ここには一部の防災グッズを載せています。各家庭で防災グッズを準備するときの参考にしてください。

○各家庭で用意が必要な防災グッズ（4人家族分の紹介）

軍手 8枚	アルミホイル 4枚
靴下 3日分	モバイルバッテリー 携帯台数分
大判タオル 8枚	小銭 (3000円分)
簡易トイレ 200枚	ハサミ
ばんそうこう	ペン
メモ帳	ティッシュ 10箱
連絡先が書いてある紙	マスク
折り紙やトランプ（暇つぶし用）	ウェットティッシュ
お菓子	3日分の水 36ℓ
歯磨きシート	母子手帳
LED ライト	速攻冷却※2

※2速攻冷却はたたいて冷たくするものです。

○災害時の避難場所

大雨時の避難場所→石巻生涯学習センター

（豊橋市石巻本町字市場 110）

基本の避難場所→下条校区市民館

（豊橋市下条東町字西浦 61-3）

〈豆知識コーナー〉

○暖を取りたいとき

- ・新聞紙で上着を作ります。作り方は新聞紙を数枚重ねて肩から羽織り、粘着テープなどで合わせ目を止めます。
- ・新聞紙をくしゃくしゃに丸め、大きなポリ袋に入れて、その中に足を入れます。さらにポリ袋の口を閉じるとより暖かくなります。

○暑いとき

- ・脱水症状を防ぐ経口補水液の作り方です。材料は水、砂糖、塩だけです。水 1 ℥ に対して、砂糖大さじ 4 杯、塩大さじ 0.5 杯 (4 g) です。
- ・首の後ろに保冷剤をあて、タオルなどで巻くと体を冷やすことができます。

○断水時のトイレの使い方※流せるときに限る

- ・バケツ 1 杯の水で排泄物を流すことが可能です。その際、トイレットペーパーなどはゴミ箱に捨ててください。

○水が限られている時の節水術

- ・少ない水で身体をふく
- ・清拭剤（ドラッグストアで購入可能）を含ませたタオルで身体を拭くと少ない水で清潔に保つことができます。

○レジ袋の両端を切れば包帯として使えます

最後まで見てくださりありがとうございました。

これからも、下条小学校6年生は防災についての理解を深め、地域の人たちの
ためにできることを考えていきたいと思います。